



第七次甲府市総合計画説明会



次第

1. 市長説明
2. 意見交換
3. 地区からの挨拶

令和8年4月21日(火)

石田小学校体育館

甲府市長 樋口 雄一

◆総合計画とは、本市の目指す将来の姿を示し、 市民の皆さまと共有しながらまちづくりを進めるための指針



基本構想

目指す「都市像」や都市像を実現するための「基本目標」を定めるもの

実施計画

基本構想に基づき実施する各種施策と施策ごとの事務事業の具体的な内容を示すもの

◆第六次甲府市総合計画（計画期間：平成28年度～令和7年度）【10年間】

新たな課題や
社会環境の変化
への的確な対応

市民の皆さまや学識経験者の方々
など、多くの意見をもとに策定

- 各種アンケート調査
（市民、小中学生、事業所、通勤者）
- 市民・若者ワークショップ
- 総合計画審議会による審議



◆第七次甲府市総合計画（計画期間：令和8年度～令和17年度）【10年間】

第六次甲府市総合計画



都市像

人・まち・自然が共生する

未来創造都市 甲府



【人・活力・暮らし・環境】の視点から
都市像を目指したまちづくりを進めてきた

第六次総合計画の実績

都市像

人・まち・自然が共生する未来創造都市 甲府

都市像を実現するための**基本目標**

基本目標1
いきいきと輝く
人を育む
まちをつくる
(人)

基本目標2
魅力があふれ
人が集う活力ある
まちをつくる
(活力)

基本目標3
安全で安心して
健やかに暮らせる
まちをつくる
(暮らし)

基本目標4
自然と都市機能が
調和する快適な
まちをつくる
(環境)

基本目標を達成するための
施策の柱

次代を担う子どもたちを育む

心豊かで輝く人を育む

産業を振興する

交流と賑わいを創出する

安全な暮らしを守る

健やかな暮らしを支える

豊かな自然と
良好な生活環境を確保する

都市基盤の利便性を高める

年度	10年間のあゆみ
2016 (H28)	小江戸甲府の夏祭り初開催 子ども未来部・子ども相談センター「おひさま」創設
2017 (H29)	放課後児童クラブの受入対象を小学校6年生まで拡大 甲府駅南口駅前広場リニューアル
2018 (H30)	防災アプリ導入 玉諸福祉センター改築オープン
2019 (R元)	中核市移行・保健所の開設 武田氏館跡歴史館（信玄ミュージアム）開設 こうふ開府500年記念式典開催 健康都市宣言 緑が丘スポーツ公園第1期整備に着手
2020 (R2)	御嶽昇仙峡が日本遺産に認定 新型コロナウイルス感染症対応策を242項目実施（R2～R5.3） 協働支援センター・子ども応援センター開設
2021 (R3)	ヴァンフォーレおしろらんどオープン 日本女性会議2021 in 甲府 開催 こうふ開府の日（12月20日）イベント開催
2022 (R4)	遊亀公園リニューアルオープン すこやか子育て医療費助成制度拡大（～18歳） やまなし県央連携中枢都市圏形成
2023 (R5)	児童生徒支援センター「すてっぷ」開設 子ども・青少年総合相談センター「おひさま・あおぞら」開設 甲府スタイルの在宅医療・介護の連携体制の構築
2024 (R6)	こども家庭センター開設
2025 (R7)	こうふ亀屋座・小江戸甲府花小路オープン （仮称）子ども応援拠点施設整備に着手

次代を担う子どもたちを育む

子育て支援

子育て応援

18歳までの医療費無償化



子ども・青少年の総合相談窓口
「おひさま・あおぞら」設置

新時代の特色ある 学びづくり



「次世代育成環境ランキング」
62中核市の中で、2年連続 総合1位



心豊かで輝く人を育む

開府500年からの時代

12月20日は
こうふ開府の日

こうふ愛の醸成

甲府市の歌



こうふ開府500年
1519-2019



信玄ミュージアム開設



こうふドリームキャンパス

私の地域・歴史探訪



多文化共生・男女共同参画の推進



日本女性会議
2021 in 甲府



甲府ラーニング・スピーチ



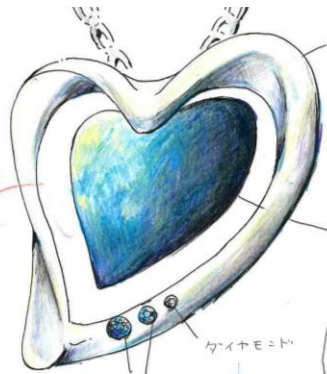
産業を振興する

地域資源の磨き上げ

YAMANASHI
JEWELRY
Week 2025



11.8 - 11.9



この空間はあけろ
夜景のようなラピスラズリ
ダイヤモンド
サファイア → 富士山
甲府産地の形をとり
いる。

ジュエリーのPR



ふるさと納税

R7年度 **100億円**

「半農半X」の支援



就労環境の整備

企業と学生のマッチング支援



交流と賑わいを創出する 観光資源の魅力向上

小江戸甲府の夏祭り



こうふ亀屋座
小江戸甲府花小路



御嶽昇仙峡の
日本遺産登録



安全な暮らしを守る

災害に強い地域づくり

安心できる生活環境の確保



総合防災訓練



地域における防犯活動

消防団員の待遇改善



防災意識の醸成



消費生活相談



健やかな暮らしを支える 元気Cityこうふを目指して



こうふ健康フェスタ



職場対抗運動会



母と子に寄り添うマイ保健師制度

住み慣れた地域で
自分らしい暮らし



人間ドック・健康診断

豊かな自然と良好な生活環境を確保する

ゼロカーボンの推進



こうふグリーンラボ



安全でおいしい
水道水の安定供給



犬・猫の
殺処分ゼロ(R5~)

都市基盤の利便性を高める

都市基盤の整備

都市計画道路の整備



土地区画整理の推進

市街地の活性化



まちなかエリアプラットフォーム



リニアを活かしたまちづくり



計画を推進するための基本的な取組

市民との協働による まちづくり



あつ活サポーター



将来を見据えた行政運営



中核市移行



保健所開設



県央ネットやまなしの形成による広域的な連携の推進

圏域人口 61万人
(県全体の約77%)
※R8.1.1時点



SDGs未来都市に
選定(R6.5)



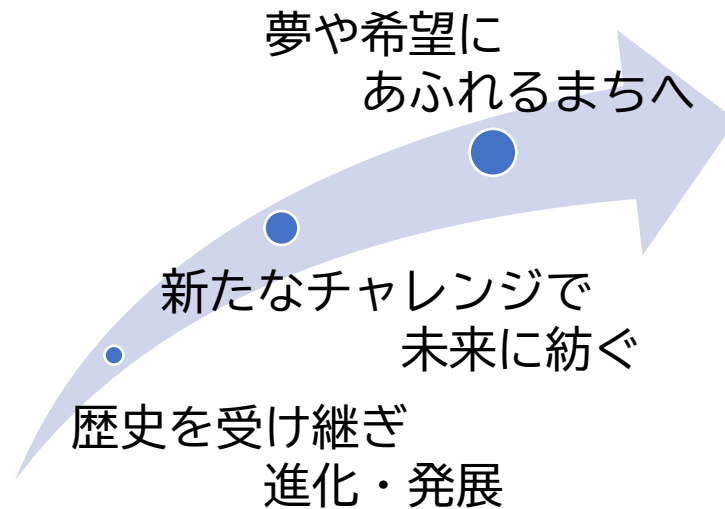
第六次を**継承**し、更なる**発展**へ

第六次 甲府市総合計画

人・まち・自然が共生する
未来創造都市 甲府



継承と発展



第七次 甲府市総合計画

幸せ実感
希望ある未来を
創り続けるまち
甲府



これまで

4つの視点から
まちづくりを進めてきた

いきいきと輝く人を育む
まちをつくる

魅力があふれ人が集う
活力ある
まちをつくる

安全で安心して健やかに
暮らせる
まちをつくる

自然と都市機能が調和
する快適な
まちをつくる



これからは…

新たな課題や社会環境の変化を
捉えたまちづくりが必要



人口減少・少子高齢化の進行



デジタル技術の著しい進展



価値観やライフスタイルの多様化



持続可能な社会の構築



安全・安心に対する意識の高まり



リニア中央新幹線の実現に向けた取組



住む人が幸せを感じられるまち
(ウェルビーイングの視点)



夢や希望を持ち、叶えられる環境が整っていること
(教育環境・安全安心・支援の充実・経済発展 など)



甲府の特色やチャンスを活かした
発展し続けるまちづくり



都市像

幸せ実感 希望ある未来を創り続けるまち 甲府

都市像の実現に向けて

これまで築き上げられてきた3つの甲府の財産を活用



地域に愛着を持ち、絆が強い甲府の「ひと」



長い歴史を持つ情緒あふれる「まち」



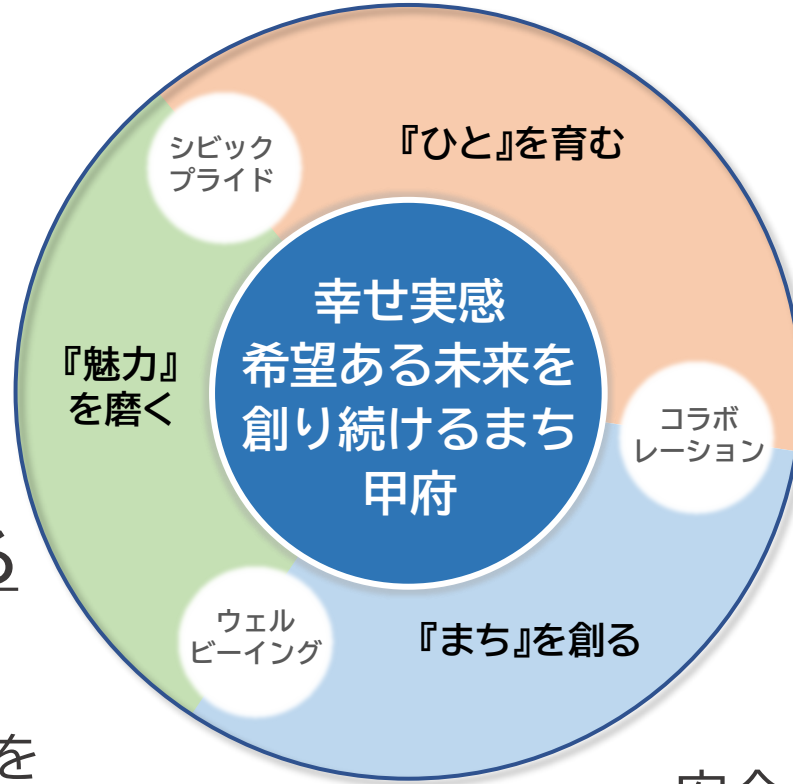
歴史・文化・自然・産業など甲府だけの「魅力」

ひと・まち・魅力がつながる
好循環で希望ある未来を
目指していく



都市機能と自然が調和する
甲府の「魅力」を磨く

「ひと」を惹きつけ「まち」を
活気づける、甲府らしい
「魅力」が地域への愛着を育み、
さらなるまちの発展につながる。



未来に輝く「ひと」を育む

誰もが自分らしく、それぞれの
ステージで輝いていけるように成長
できる環境の整備が、甲府の
「魅力」になり「まち」の発展にも
つながる。



安全・安心で快適な
「まち」を創る

安全・安心で住みよく、活気にあふれ、
都市機能も兼ね備えたバランスの良い
まちが「ひと」の成長を支える環境に
なり、人が集う「魅力」にもつながる。

地域を支え、未来に向かって自分らしく輝く「ひと」を育むために——

甲府市を取り巻く現況と課題

- ❖ 人口減少の進行
 - ❖ 高齢化の進行
 - ❖ デジタル技術の進展
 - ❖ 核家族化や働き方の多様化
 - ❖ 地域の間人関係の希薄化
- » » » 一人ひとりに求められる役割の増加
 - » » » 介護需要の増加、ケアラーの顕在化
 - » » » 生涯を通じて変化し続ける社会環境への適応
 - » » » 子育て世帯の孤独感・負担感の増加
 - » » » 地域の交流や支え合いの減少、高齢者の孤立



施策
1-1



誰もが学び、成長できる
機会の創出

施策
1-2



自分らしく暮らせる
福祉の充実

施策
1-3



子育て・子育てを支える
環境づくり

施策
1-4



互いを尊重し
共生できる社会の実現

施策
1-5



地域とのつながり・
愛着の醸成

施策
1-6



健康に生活できる
環境の整備

「ひと」を育むために——

子育て支援・子育て応援の拡充



● 学校給食費を完全無償化(R8～)

- ✓ 市立小学校を無償化
- ✓ 市立中学校も国に先んじて無償化
- ✓ その他の小中学生には給食費相当額を支給
➔ すべての子どもたちを支援



● 1か月児健康診査の実施(R8～)

● 5歳児健康診査の実施(R9～)

● 保育所等における おむつ処分費の補助(R8～)



● (仮称)子ども応援 拠点施設の整備

- ✓ 多様な機能を備えた
“こどもを中心に様々な
世代が交流する”複合施設
を整備
- ✓ R10年度のオープンに
向けて実施設計(R8)





「ひと」を育むために——

住み慣れた地域で自分らしく暮らせる福祉の充実

- 認知症高齢者等へのGPS機能付き機器購入費等の助成(R8~)

✓ 屋外での独り歩き認知症高齢者等を早期発見

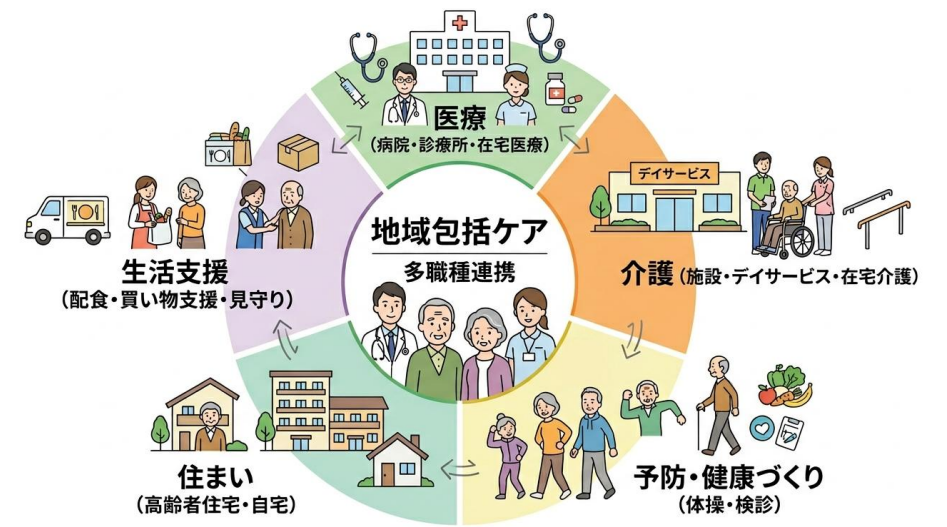
- 介護認定調査への訪問調査モバイル導入(R8~)

✓ 調査から審査完了までに係る日数の短縮により、速やかに介護サービスを提供

- 養護老人ホームの運営費増額(R8~)

✓ 高齢者のセーフティネットの充実・強化

- 地域包括ケア体制のさらなる推進



「ひと」を育むために——

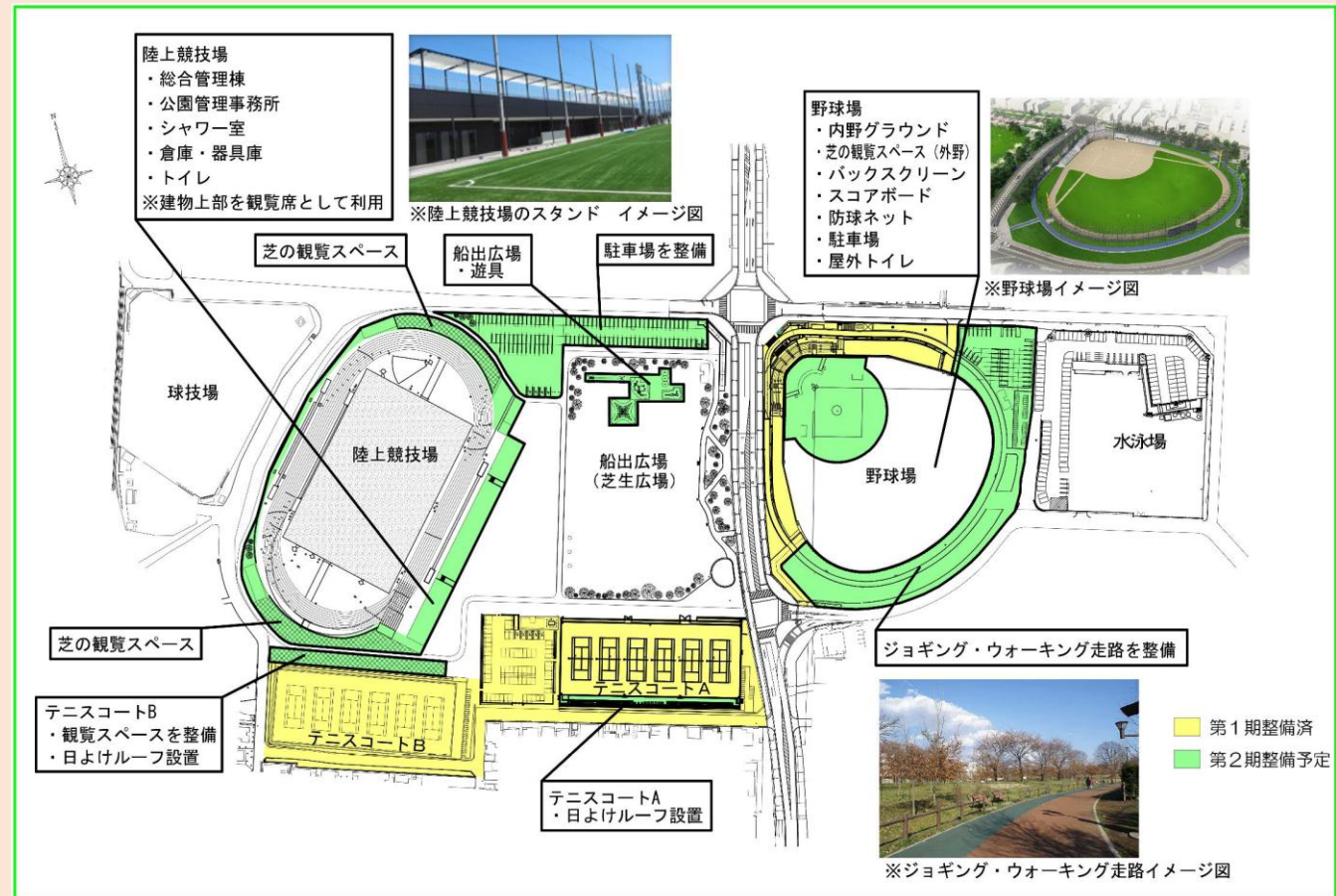
生涯スポーツに親しめる拠点の整備



- ウェルビーイングの向上を目指し、「からだところの元気交流拠点」として緑が丘スポーツ公園の第2期整備に着手(R8~)

施設名称	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	概算事業費
陸上競技場	実施設計	←————→				約2.5億円
野球場	実施設計	←————→				
船出広場	実施設計	←————→				

*上記の第2期再整備スケジュールは現時点のものであり、今後の社会情勢の変化等により見直しを行う場合があります。



安全・安心で快適に暮らすことのできる「まち」を創るために——

甲府市を取り巻く現況と課題

- ❖ 災害の激甚・頻発化
 - ❖ インフラ施設の老朽化
 - ❖ ゼロカーボンシティの実現
 - ❖ ごみ問題への意識の高まり
 - ❖ 市街地の低密度化
- » » » 地域一体となった災害対応力の向上
 - » » » 計画的な道路整備や、上下水道施設の更新・耐震化
 - » » » 水素をはじめとする次世代エネルギーの活用
 - » » » 持続可能な循環型社会の構築
 - » » » 都市機能の集積、回遊できるまちなかづくり



施策
2-1



災害・感染症等に強い
地域づくり

施策
2-2



安心な暮らしを守る犯罪
の抑止と交通安全の確保

施策
2-3



心地よく暮らせる
住環境の形成

施策
2-4



衛生的な
生活環境の構築

施策
2-5



生活を支えるインフラ
の整備・更新

施策
2-6



時代に合った良好な
都市空間の形成

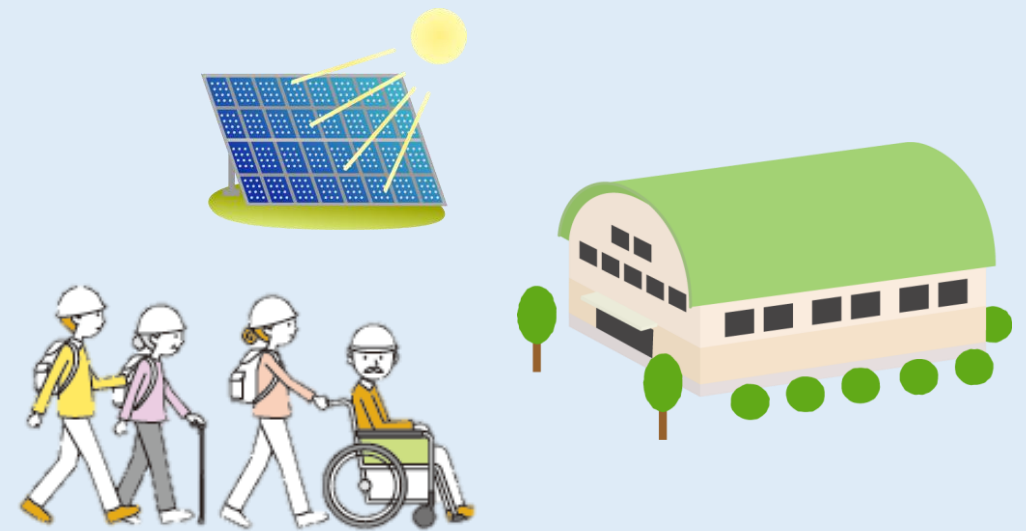
「まち」を創るために——

災害に強いまちづくり



- 避難所環境の高質化に向け、妊産婦向けの衛生用品など、女性の視点に立った備蓄品を拡充(R8)
- 蓄電池及びソーラーパネルを「県央ネットやまなし」の圏域内の避難所に配備(R8)
- 気象庁が運用する新たな防災気象情報など、迅速な避難行動につながる情報を分かりやすく提供
 - ✓ 「内水ハザードマップ」の作成(R8)
 - ✓ 「わが家の防災マニュアル」の改訂(R8)

- 災害時の避難所としての機能をあわせ持つ学校体育館の空調設備の整備に着手(R8~)



「まち」を創るために——

魅力あるまち並みの形成

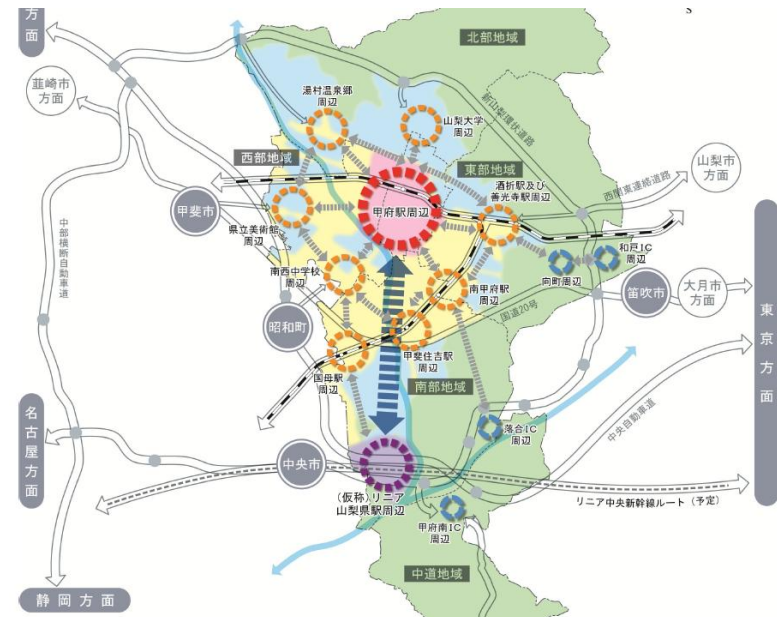


- 日本で4番目に古い歴史ある
遊亀公園附属動物園の再整備

- ✓ 多くの人に愛される、人にも動物にもやさしい動物園を目指す
- ✓ まちなかの拠点の一つとして、R9年度のオープンに向けて整備



- 朝日町通り沿線の整備
- 「都市計画マスタープラン」
「立地適正化計画」の改定



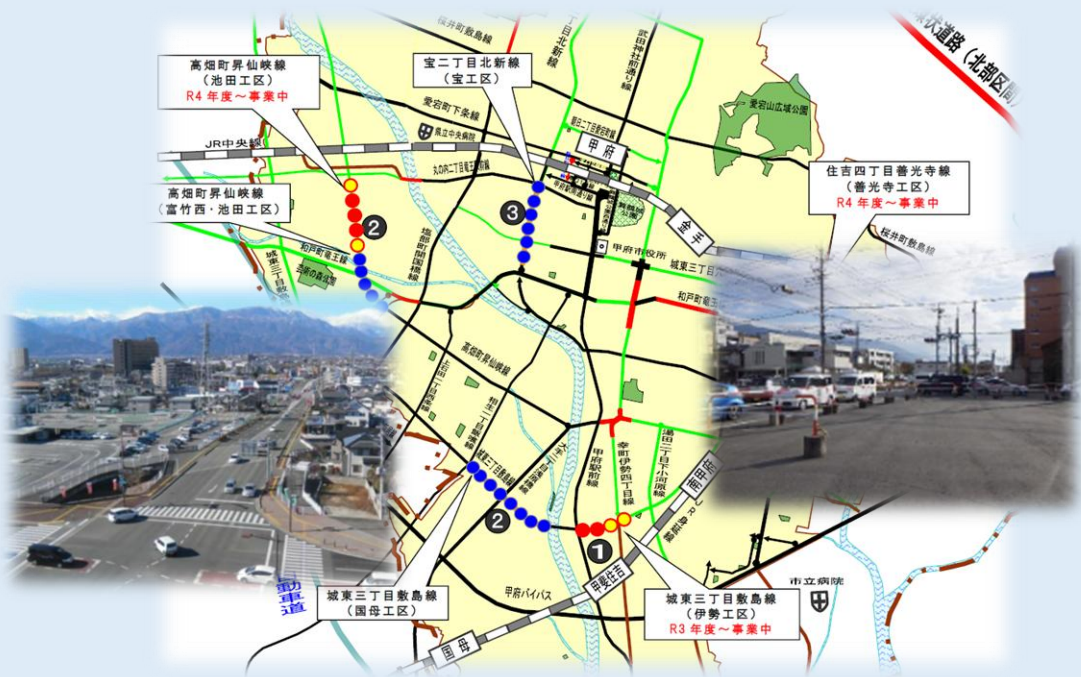


「まち」を創るために——

暮らしを支える都市基盤の整備

- まちの骨格をなす都市計画道路の整備

- ✓ 「都市計画道路整備プログラム」に基づき、「城東三丁目敷島線」「住吉四丁目善光寺線」「高畑町昇仙峡線」の整備を引き続き推進



- 生活道路の整備・維持管理
- 安全で安心な水道水の安定供給
- 地震災害等に備えた上下水道の老朽化対策・耐震化の推進

自然・歴史・文化があふれる甲府ならではの「魅力」を磨くために——

甲府市を取り巻く現況と課題

- ❖ 情報発信・伝達手段の多様化
 - ❖ 観光動向の変化・多様化
 - ❖ 少子高齢化、若者の転出超過
 - ❖ 事業主の高齢化、後継者不足
 - ❖ リニア中央新幹線の開業
- ≫≫≫ 宝飾をはじめとした「甲府ブランド」の確立
 - ≫≫≫ 観光地の高付加価値化、広域的な連携
 - ≫≫≫ 労働力の不足、産業の衰退
 - ≫≫≫ 多様な担い手の確保・育成
 - ≫≫≫ 開業効果を市域・圏域全体に波及させるまちづくり



施策
3-1



宝飾をはじめとする地域産業
を活かしたブランド力の強化

施策
3-2



地域活力を支える
産業の振興と雇用の創出

施策
3-3



新しい人の流れを創る
交流とにぎわいの創出

施策
3-4



リニア開業を見据えた
まちづくりの展開

施策
3-5



多様な主体との
連携の推進

施策
3-6



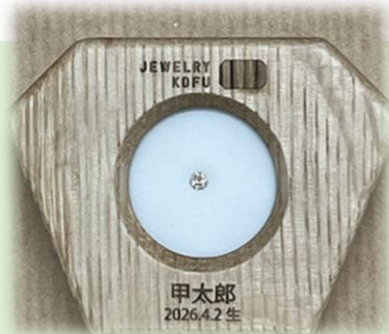
将来にわたり持続可能な
行財政運営の推進



「魅力」を磨くために——

地域経済を支える産業の活性化

- 世界有数の宝飾の集積産地であることを活かしたブランド力の強化・確立
 - ✓ 返礼品に「甲府ジュエリー認定証」(R8～)
 - ✓ ジュエリースタート事業の実施(R8～)
(甲府で生まれた子どもに誕生石贈呈)
 - ✓ めがねのまち鯖江市と「つくる」をテーマにした連携事業を実施



- 豊かな自然を活かした農林業の振興
 - ✓ 農業の担い手確保に向けた「半農半X」の推進
 - ✓ 「甲府之証」のさらなるPR
 - ✓ 圏域市町と連携した「山のぼり・まち歩き」イベントの実施



- 中小企業・小規模企業への支援
- スタートアップ企業とのマッチング支援
- 圏域市町と連携した雇用促進対策

「魅力」を磨くために——

観光資源の高付加価値化



- 長い歴史を有する温泉郷「信玄の湯 湯村温泉」の民間主導による高付加価値化を支援(R8~)

- ✓ 温泉郷の振興と併せて、主要な観光地である「日本遺産 御嶽昇仙峡」への相乗効果を生み出す



- こうふ亀屋座・小江戸甲府 花小路の誘客促進



- ✓ デジタル技術(VR等)を活用した体験事業の実施(R8~)
- ✓ 新たな冬の風物詩として、こうふ亀屋座のイルミネーション装飾(R8~)



「魅力」を磨くために——

リニアを活かしたまちづくり

- リニア開業効果を最大限享受しつつ、新たな甲府・山梨の玄関口として、圏域全体の価値を向上させる駅前エリアの整備を進める
- 駅前エリアの基本計画に向けた方向性となるコンセプトブックを策定(R8)
- 各種施設の3D都市モデルを作成(R8)

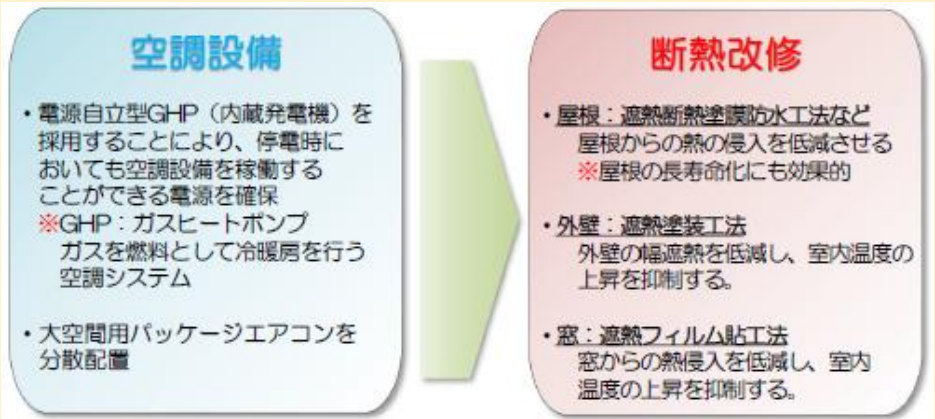


石田地区に特に関わりが深い取組①



学校体育館への空調設備の整備

- 学校体育館に空調設備の整備と断熱改修を実施することにより教育環境の充実と避難所環境の良質化を図る



Point①

教育環境と避難所環境の同時向上

- 平時：授業、部活動、学校行事等の教育環境の質的向上
- 災害時：避難者の良好な生活環境の確保

Point②

計画的な空調整備と断熱改修

- 空調設備と合わせ、屋根・外壁・開口部への遮熱・断熱化による冷暖房率の向上により効果的な空調環境の実現

Point③

環境負荷低減と災害時対応の両立

- 省エネ性と運用コストの抑制
- 停電時においても、冷暖房稼働（電源自立型GHPを採用）

Point④

年次計画と財政負担の平準化

- 複数年で、段階的かつ計画的な整備
- 国の補助制度等を活用し、財政負担の平準化による持続可能な整備

- 南西中学校は
【R8年度 空調整備】
【R9年度 断熱改修】
- 石田小学校は
【R10年度 空調整備】
【R11年度 断熱改修】

石田地区に特に関わりが深い取組②



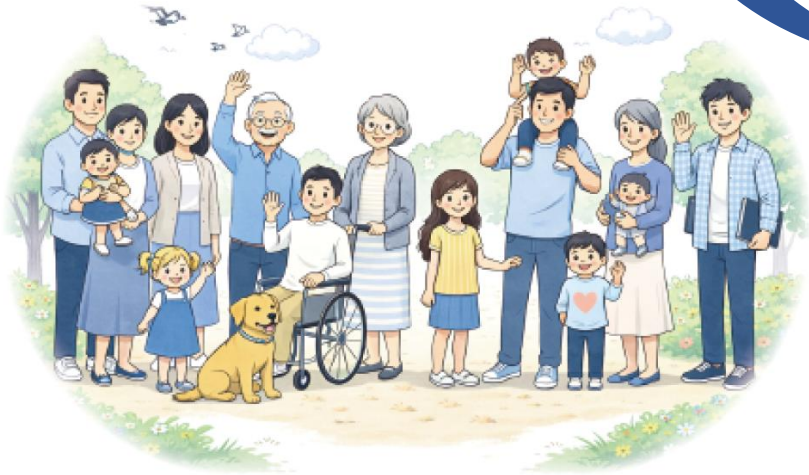
地区における環境整備

- 飯豊橋の補修工事や「南西2号線」の路線測量などを行い、安全・安心な道路環境を維持する
- 南西中学校図書室の空調設備を更新し、子どもたちが学習しやすい環境を整える
- 「株式会社樋口 石田悠遊館」の防水工事により、コミュニティ活動の拠点施設の長寿命化を図り、更に安心して使えるように整備する

市民の
皆さま



甲府市



誰もが幸せを実感できるまちを
ともに考え、ともに創っていきましょう

ご清聴ありがとうございました

